

## 国防力の強化における偉人たちの業績

ロシア・ティンダ市チュチェ思想研究協会会長  
ゲンナジー・アスタホフ

朝鮮労働党創立 76 周年に際して 2021 年 10 月 11 日、朝鮮民主主義人民共和国の首都平壤の 3 大革命展示館では国防発展展覧会「自衛—2021」が盛大に開幕されました。

朝鮮労働党総書記、朝鮮民主主義人民共和国の国務委員長、朝鮮民主主義人民共和国最高司令官である金正恩総書記が開幕式に参加しました。

展覧会には最近 5 年間に開発生産された各種の兵器と戦闘技術機材が展示されました。

朝鮮労働党の金正恩総書記は展示品を注意深く見て回り、高く評価しました。金正恩総書記は、朝鮮労働党の指導のもとに「わが国家第一主義」のスローガンを高く掲げて世界最強の国防力を強化するための聖なる民族史的偉業を遂行している国の国防部門関係者たちの熱い愛国的表情を高く評価しました。

金正恩総書記は、国防発展展覧会でおこなった記念演説で、今日の盛大な展覧会は不敗の自衛路線を変わることなく堅持し、国家防衛力強化の新たな転機を開いていく朝鮮労働党の雄大な抱負と指導力、実践的執行力を集約的に、直観的に知るようにし、わが国家が到達した国防科学、軍需工業の驚異的な発展ぶりやその目覚ましい展望を誇示する、大規模の閲兵式に劣らぬ国力の一大示威になると誇り高く宣言しました。

金正恩総書記は、朝鮮労働党がここ 5 年間、必ず踏み切らなければならなかった生死を分かち国防工業革命の道、未知の雪道を振り返りました。金正恩総書記は、国防を強化する活動を一時も疎かにしてはならない必須で死活の重大国事としておし立てた国防政策の正当性について言及しました。そして全人民が朝鮮民主主義人民共和国の防衛力を全面的に強化するための偉業に心身と知恵、熱情を惜しみなくささげようと熱烈に呼びかけました。

朝鮮民主主義人民共和国の国力と武力の強化は、金日成主席と金正日総書記の尊名と切り離しがたく結びついています。進歩的人類は意義深い年を迎えるようになります。2022 年 4 月 25 日は、社会主義朝鮮の始祖である金日成主席が朝鮮人民革命軍を創建した 90 周年にあたる日です。朝鮮人民軍は、全期間、勝利と栄光の戦闘的行路を歩んできました。朝鮮人民軍は、世界の反帝闘争史に特筆すべき輝かしい 1 ページを記録しました。

日本が朝鮮を軍事的に占領した時期（1905－1945）に、朝鮮人民革命軍は国家的後方も正規軍の支援もなしに、困難な武装闘争をくり広げて「アジアの盟主」と自称していた日本帝国主義を撃滅し、1945年8月15日、祖国解放をなし遂げました。

解放後、正規の武力として成長した朝鮮人民軍は、朝鮮戦争（1950年6月－1953年7月）で英雄主義を高く発揮しました。この戦争は、創建されて2年も経っていない朝鮮民主主義人民共和国を揺籃期に圧殺しようと、アメリカ帝国主義が起こした戦争でした。結果は明白でした。世界「最強」を誇っていたアメリカ帝国主義の「強大さ」の神話は、跡形もなく打ち破られました。朝鮮民主主義人民共和国の自由と独立は固く守られました。アメリカ帝国主義は、降伏書と同じである停戦協定の文書に調印せざるを得ませんでした。

朝鮮半島で戦後、一触即発の危機の状況（1968年1月のアメリカ帝国主義の武装情報収集艦プエブロ号事件、1969年4月の米軍大型偵察機「EC-121」事件、1976年8月の板門店事件など、アメリカの続く挑発策動）がかもし出されたときにも朝鮮人民軍は、挑発者を容赦なく懲罰し、国の安全と革命の獲得物を守りました。

前世紀の末、一部の国で社会主義が崩壊したことを契機に、帝国主義連合勢力は朝鮮民主主義人民共和国に政治的・軍事的攻撃の矛先を向けました。この厳しい状況の中で、朝鮮民主主義人民共和国の国防委員会委員長である金正日総書記は先軍の旗をより高く掲げ、国の軍事力強化に第一義的な力を入れました。そうして朝鮮人民軍は、思想と信念が透徹した最精鋭の強兵、近代的な攻撃および防御手段を立派に備え、いかなる侵略者も一撃のもとに撃退できる不敗の武力として強化発展しました。

朝鮮人民軍は、革命の柱、主力部隊としての威容をとどろかせながら、国の政治・思想陣地を全面的に強化することに大きく寄与しました。

周知のように前世紀の末、一部の国々で社会主義が崩壊した主な原因は、軍事力や経済力が弱かったからではありません。その原因は、政治・思想陣地が弱化されたところにあります。

しかし、一つの思想にもとづいた統一団結があって、朝鮮の政治・思想陣地は全面的に強化されました。朝鮮民主主義人民共和国で伝統的な軍民一致は、代を継いで新たな高さへと発展しています。軍隊と人民は単に助け合い、愛するだけでなく、思想的・精神的風格と闘争気風で一致しています。

特に強調すべきことは、今日、朝鮮民主主義人民共和国では、軍民一致が軍隊で創造され発揮される革命的軍人精神にもとづいてなされるということです。

革命的軍人精神にもとづいた軍隊と人民の思想と闘争気風の一致は、朝鮮社会の政治・思想陣地を一段と強化させました。磐石のごとく固められたこうした政治・思想陣地によって、社会主義朝鮮は歴史の厳しい試練の中でも微動だにせず勝利することができるのです。

朝鮮人民軍は、社会主義建設においても主力部隊として絶え間なく奇跡を創造し、立派な偉勲を立てています。

「祖国の防衛も社会主義建設もわれわれがすべて引き受けよう!」、これは朝鮮人民軍軍人が掲げていくスローガンです。人民軍軍人は、そのスローガンを高く掲げて多くの鉱山と炭鉱、発電所、工場、企業所、学校、病院、劇場を建設しました。彼らは戦後の復興建設と社会主義建設の主要な部門で常に先頭に立って突破口を開き、祖国の富強繁栄のための万代の礎を築きました。

彼らの果敢な闘争によって紋繡遊泳場と美林乗馬クラブなど、大衆文化情操基地が世界的水準で建設され、玉流児童病院と柳京歯科病院のような医療サービス基地が新設されました。科学者、技術者のための銀河科学者通りと金日成総合大学教育者住宅、そして人民の幸福のための多くの基地のすべては、軍人たちの勤労の偉勲の所産であり、ここには彼らの汗がしみています。

世界的水準の馬息嶺スキー場も軍人たちが建設したものです。

一般的に、このように膨大な対象を建設するためには10年かかると言われますが、軍人建設者は未曾有の「馬息嶺速度」を創造して、最短期間内に建設を立派に結束しました。金正恩総書記は、完工した馬息嶺スキー場を見て回りながら人民軍が本当に大きな仕事をなし遂げたと彼らの偉勲を高く評価しました。

最近、アメリカは朝鮮半島でまるまる一つの戦争をおこなってあり余るほどの膨大な武力と最新戦闘技術機材を動員して、各種の名目の大規模合同軍事演習をおこないながら核戦争の暗雲をもたらしています。しかし、朝鮮民主主義人民共和国が保有している強力な戦争抑止力によって、この地域で自主権と社会主義、平和と安全は頼もしく守られています。この事実を通じて、国際社会は反帝闘争で常に勝利のみを轟かす朝鮮人民軍の実力をよりはっきりと見えています。